

■ 第1章 ■
調査の概要

1. 調査構成

(1) 調査の目的

本調査は、墨田区の高齢者等の生活実態及び墨田区で介護保険事業を展開する事業者の実態等を把握し、「高齢者保健福祉総合計画」及び「介護保険事業計画」の見直しに必要な基礎資料を得ることを目的として実施したものである。

(2) 各調査の基本構成と回収状況

図表 1-1 各調査の基本構成と回収状況

調査名	①高齢者の生活実態・意識調査
調査対象者	要支援・要介護認定を受けていない、65歳以上の墨田区民
抽出元・抽出方法	平成20年1月1日現在の住民基本台帳から抽出 単純無作為抽出
調査方法	郵送配付、郵送回収、葉書による督促1回
調査期間	平成20年1月23日～2月19日
調査項目	1. 回答者の基本属性 2. 家族等の状況 3. 健康状態 4. 介護予防に対する意識 5. 就労や地域活動等の取り組み意向 6. 日常生活における手助けの必要性 7. 将来の生活に対する考え方 8. 介護保険や区の福祉保健施策に対する意向等 9. 区に対する意見・要望
対象者数・回収結果	A：対象者数：1,800票 B：有効回収数：1,287票 C：有効回収率：71.5% (C = B / A × 100)
本報告書における掲載	第2章(9ページ～)

調査名	②要介護認定者調査
調査対象者	要介護認定を受けている、65歳以上の墨田区民
抽出元・抽出方法	平成20年1月1日現在の介護保険被保険者台帳から抽出 単純無作為抽出
調査方法	郵送配付、郵送回収、葉書による督促1回
調査期間	平成20年1月23日～2月19日
調査項目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 回答者の基本属性 2. 在宅の要介護高齢者の暮らしの状況 3. 家族による介護状況 4. 介護保険サービスの利用状況と評価 5. 今後の生活に対する考え方 6. 介護保険や区の福祉保健施策に対する意向等 7. 施設・居住系サービス利用者の生活状況と意向等 8. 区に対する意見・要望
対象者数・回収結果	A：対象者数：2,000票 B：有効回収数：1,345票 C：有効回収率：67.3% (C = B / A × 100)
本報告書における掲載	第3章 (65ページ～)

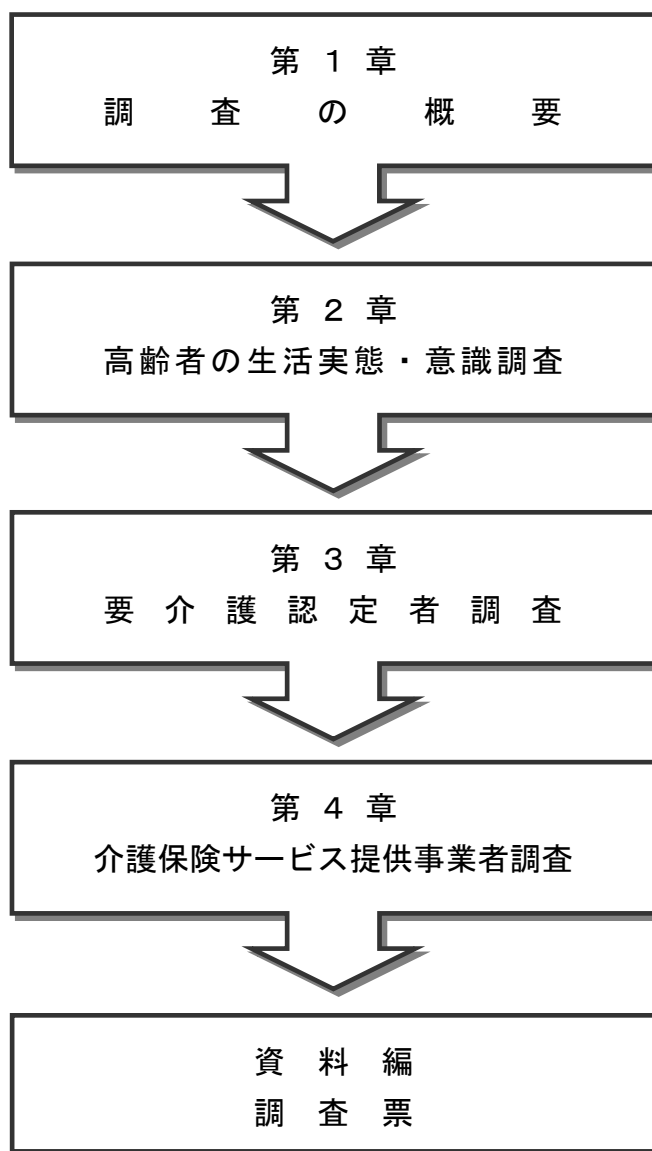
調査名	③介護保険サービス提供事業者調査
調査対象者	墨田区事業者連絡会登録事業者
調査方法	郵送配付、郵送回収、葉書による督促1回
調査期間	平成20年1月23日～2月19日
調査項目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 回答事業者の基本属性 2. 事業実施状況及び今後の展開 3. 事業所における取り組み状況 4. 居宅介護支援事業の提供状況 5. 居宅サービス・地域密着型サービスの提供状況 6. 施設・居住系サービスの提供状況 7. 事業者連絡会に対する意見・要望 8. 区に対する意見・要望
対象者数・回収結果	A：対象者数：118票 B：有効回収数：98票 C：有効回収率：83.1% (C = B / A × 100)
本報告書における掲載	第4章 (133ページ～)

2. 報告書の構成及び報告書利用上の注意

(1) 報告書の構成

本報告書の構成は、以下のとおりである。

図表 1-2 報告書の構成



(2) 報告書利用上の注意

・「回答者数」「回答数」について

図表中の「回答者数」「回答数」は、各設問に該当する回答者の総数であり、回答率(%)の母数をあらわしている。

・図表の単位について

本報告書に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り「%」(回答率)をあらわしている。

また、回答率は小数点第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100%にならないことがある。

・図表における選択肢等の記載について

図表の記載にあたっては、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。簡略化していない選択肢は、「資料編」の調査票を参照のこと。

・単純集計について

回答結果の全体の傾向を捉えるため、単純集計を行い、その特徴等を記述している。

単純集計のグラフにおいては、傾向をよりわかりやすくするために、選択肢を回答率(%)の高いものから低いものへと並び換えて表示している場合がある。

・クロス集計について

クロス集計表の記載にあたり、分析の柱となる項目(例えば、男女別、年齢別など)の「無回答」は掲載を省略している。したがって、分析の柱となる項目の回答者数の合計は、全体と一致しない。

・集計及び分析結果の掲載順序について

集計及び分析結果の掲載順序は目次のとおりであり、調査票の間番号の順序とは一致しない。

・過去調査結果との比較について

本報告書の「第3章 要介護認定者調査」においては、可能な範囲で、平成18年度に、要支援認定者を対象に実施した調査結果との比較を行っている。

(3) 居住地域の分類について

本報告書においては、居住地域を地域包括支援センター管轄である8地域に分類し、集計を行っている。

はなみずき	八広、東墨田
たちばな	文花、立花
こうめ	向島、押上
なりひら	錦糸、太平、横川、業平
うめわか	東向島4丁目、堤通、墨田
同 愛	横網、亀沢、石原、本所、東駒形、吾妻橋
むこうじま	東向島(4丁目を除く)、京島
みどり	両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋

(4) 標本誤差

①高齢者の生活実態・意識調査は、要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の墨田区民(母集団)の中から、②要介護認定者調査は、要介護認定を受けている65歳以上の墨田区民(母集団)の中から、無作為に選ばれた一部の人(標本)について調査を行う「標本調査」である。標本調査では、標本から母集団における数値を推定する時に誤差がともなう。

調査で生じた標本誤差(b)はおおよそ下表のとおりである。標本誤差(b)の値は、母集団数(N)、比率算出の基数(n)、及び回答の比率(P)によって異なる。

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

図表 1-3 標本誤差

①高齢者の生活実態・意識調査

回答比率 基数	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,287	±1.6%	±2.2%	±2.5%	±2.6%	±2.7%
1,000	±1.8%	±2.4%	±2.8%	±3.0%	±3.1%
800	±2.1%	±2.7%	±3.1%	±3.4%	±3.4%
600	±2.4%	±3.2%	±3.6%	±3.9%	±4.0%
400	±2.9%	±3.9%	±4.5%	±4.8%	±4.9%

②要介護認定者調査

回答比率 基数	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,345	±1.4%	±1.9%	±2.1%	±2.3%	±2.3%
1,000	±1.7%	±2.2%	±2.6%	±2.7%	±2.8%
800	±1.9%	±2.6%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
600	±2.3%	±3.0%	±3.5%	±3.7%	±3.8%
400	±2.8%	±3.8%	±4.3%	±4.6%	±4.7%

②要介護認定者調査の標本誤差の見方は次のとおりとなる。

(例) ある設問の回答者が1,345人であり、設問中の選択肢の回答率が60%であった場合、誤差は最高でも±2.3%である。